

豊かな滝を形成しているところから湧水による供給を理解できた。この地帯では湧水帯の存在が開発の境となっているという。

以上、今度の巡検は、教科書の模式図から脱け出して実際の複雑な地形地質に初めて接し、思考する場合の時間的空間的尺度の変換を余儀なくされ、また観察を助ける基礎知識の必要性を痛感した。

(3年 木場記)

三浦半島巡検報告 (渡辺・浅井教官)

昭和43年3月1日～3日

「房総や伊豆に多い花卉栽培がなぜ三浦半島には見られないか」とのテーマにより、自然地理的、人文地理的分野を、各々分担して調査検討した。もとより十分であるとは言い難いが、以下このテーマについての調査結果を簡単にまとめてみた。

地形・地質的には、三浦半島と房総半島は類似し、第三紀層より成り低い丘陵を呈している。半島の南端部には、両半島とも海岸段丘の発達が見られ、房総の白浜付近では段丘面に花卉の露路栽培が行われている。これに対し、三浦半島の段丘斜面には伝統的に蔬菜の栽培が主流となっていて、三浦市の野菜粗収入は年間12億円を起える。また花を始めても1・2年で野菜にもどってしまう状態である。伊豆半島の場合は、三浦・房総両半島と全く異なって富士火山帯に属し火山性の高い尾根を形成している。海岸段丘はなく、急傾斜の山地が、直接海に入りこんだ沈水海岸線を呈している。この半島における花卉栽培は火山帯であるという自然条件を有効に使った方法がとられている。以上のように三浦半島と伊豆半島の地形的地質的差異は明らかであり、伊豆半島にある花卉栽培が三浦半島に発達しない原因は自然条件からも一つの説明ができる。しかし、一方、三浦半島南端と房総のそれを考えてみると、南に面した段丘斜面というように、あまり差異はみられないのに、花卉園芸が三浦半島には存在しない。

次に土壌についてみると、花卉栽培に適する土壌は、砂土、植土土壌で、幅が広い。だから火山灰土壌は、花卉栽培に適しているものの一つである。ここで問題とする三浦半島についてみると、大体の地域は、磷酸吸収係数が大きいので、花が広がってしまい、密生しないので花に適さないが、一部の沖積土、重粘土がある地域では、このようなことがなく、花卉栽培が行なわれている。決して、花卉栽培が不可能ではないが、積極的に土壌改善などはせず、むしろこの土壌によく適した大根を栽培する方向へ向うわけである。

三浦半島は、共に海洋(黒潮)の影響を強く受け、東京などの内陸平野部に比べ、海洋性の温和

な気候と言えよう。

このうち、三浦半島はどちらかと言えば、東京湾寄りに位置し、東西性の山が平行に走っているため、三半島の中では、若干内陸の傾向がみられる。しかし、多少の差はあれ、三半島は共に霜の少ない暖い冬を持ち、暖地性の作物栽培の可能な農業的に優れた地域とみることができる。三浦・房総・伊豆半島における各地点の水収支をみても、いずれも水不足は起らず、農作物の場合は、畑地灌漑は不要である。

このように、自然的には三浦はたいして差がみられず、土壌についてだけ、三浦半島と他の二半島とに意味のありそうな差異が認められたにすぎない。

つぎに、テーマに対してより明確な解答を与えられると思われる人文的分野からみてみる。三浦の農業は、大きな経営規模の下で行なわれており、専業率も高く、昭和35年と昭和40年とを比較してみると、2%ながら増加の傾向が認められる。一方、房総・伊豆両半島の花卉栽培を行っている地域は、小規模経営の農家が多く、第2種兼業率が高く、しかも年を追って兼業率が増大している。

三浦の農業についてみると、畑作、特に野菜中心の農業である。平均年2.7回転という高度な輪作を行っていて、夏のスイカ、秋の大根、冬のキャベツである。特に大根は、古くから栽培され、「三浦大根」として広く知られている。この大根を例にとると、出荷の少ない時期に市場へ出し独占的になるのでより有利である。このため農家は畑地を買い足し、昆沙門部落では塵埃処理場をわざと誘致して、都市化を防いでいるほどである。また農地の99%は長男相続で、規模の零細化を防いでいる。

花卉栽培は、労働集約的であるが、三浦市は、京浜地区への通勤圏であり、過剰労働力がプールされることはなほ少ないと言える。実際三浦市では、農業従事者率は、房総、伊豆半島の花卉栽培地域と比べてたいへん低い。花卉栽培は手がかかるので、栽培面積に限度がある。よって千葉県南端のように狭い面積で高い収益をあげるのには有効である。しかし、三浦半島のように広い面積がある場合には、自家労働力・価格の安定性等の理由から、手のかからない野菜の方が有利なのである。まして、農林省から「野菜指定産地」として確固たる地位と若干の補助金を得ているのであるから、三浦では房総や伊豆で行われている花卉栽培をしないのであると一応結論づけられた。

(3年 原賀記)